



KMQ8

ステレオ メインアンプ
トランス キット
model **KMQ8**

6RA8 P.P. OY14型出力トランス使用 ¥19,500

真空管・CRキット(別売) ¥5,600

KMQ8は、3極出力管6RA8とOY14型出力トランスによって構成される、ステレオ・パワーアンプのトランス・キットです。この構成は、プリ・メイン型アンプの傑作、SQ38型によって、既に愛好家にとっては、馴染の深いものになっています。

本キットは、このSQ38D型のメイン・アンプ部を、トランス・キットに仕立て直した製品です。したがって、部品および回路構成は、SQ38Dに準じており、特性もほぼ同等のものが得られるようになっています。トランス・メーカーのサービス製品ともいえるべきもので、非常にローコストですから、音質本位の高級アンプを求めておられる方には、見逃せない製品です。組み立ても比較的簡単で、実体図に従えば、知らず知らずのうちに出来上ってゆきます。

KMQ8は、チャンネル・アンプ方式を構成する場合にも、きわめて重宝です。本機によって得られる、繊細な中高音は、まったく他の追従を許しません。本格的なプリ・アンプと組み合わせて、質の高いアンプをまとめることもできます。とにかく一台は、手元に置きたいアンプです。

LUX CORPORATION



KMQ8

音の世界には、さまざまな考え方が成り立つものとみえます。一方では時代の先端をゆくトランジスタがさわがれているかと思えば、一方では昔ながらの3極管がもてはやされている、といった具合です。日進月歩を必然とする科学の世界からみれば、はなはだ奇態な現象というほかないのですが、音の世界では、こうしたことが矛盾なく通用するので不思議です。

しかし、考えてみればこれも当然のことかもしれません。元来、音というものは、感性に直接訴えてくるものですから、理屈の上の矛盾は、あまり問題にはならないからです。目的が音そのものであってみれば、それを再生する手段がどうであろうと、敢えて問うところではない、というわけでしょう。

“真空管アンプかトランジスタ・アンプか”といった比較論がポツポツ音の世界にも介入してきたようですが、かつては、3極管と多極管の間に

同じような比較論がたたかわされたものです。もっともこれは、結論が出ないまま——結論同志が対立したまま——今日に至っています。強いていえば、実際に求める人の好尚が結論だということになるのでしょうか。

それにしても、3極管が今日なお多数の愛好家に、ほとんど絶対的といってよい信頼を得ていることは、大げさにいって時代を超越しているという点で注目には値します。3極管党は、異口同音に音質のすぐれていることを挙げています。“やわらかい音” “丸味のある音” “ふくよかな音” “厚味のある音” “清澄な音” “コクのある音”——といった具合で、表現はさまざまですがそのいわんとするところは、おおよそ見当がつかます。けだし、私たちの再生音に対する理想です。

3極管アンプの魅力は、こうした再生音に対する一種の夢が、素直に託し得られるところにあるのではないのでしょうか。

KMQ8 トランス・キットの内容

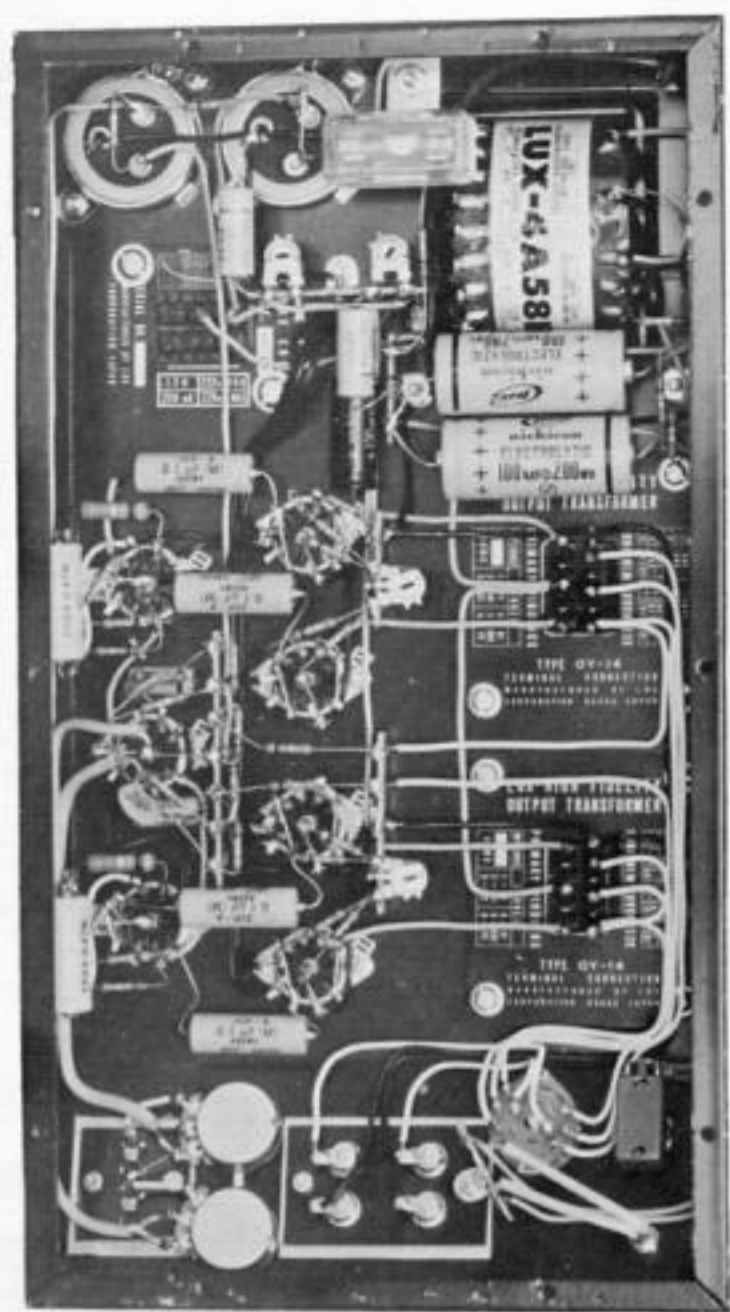
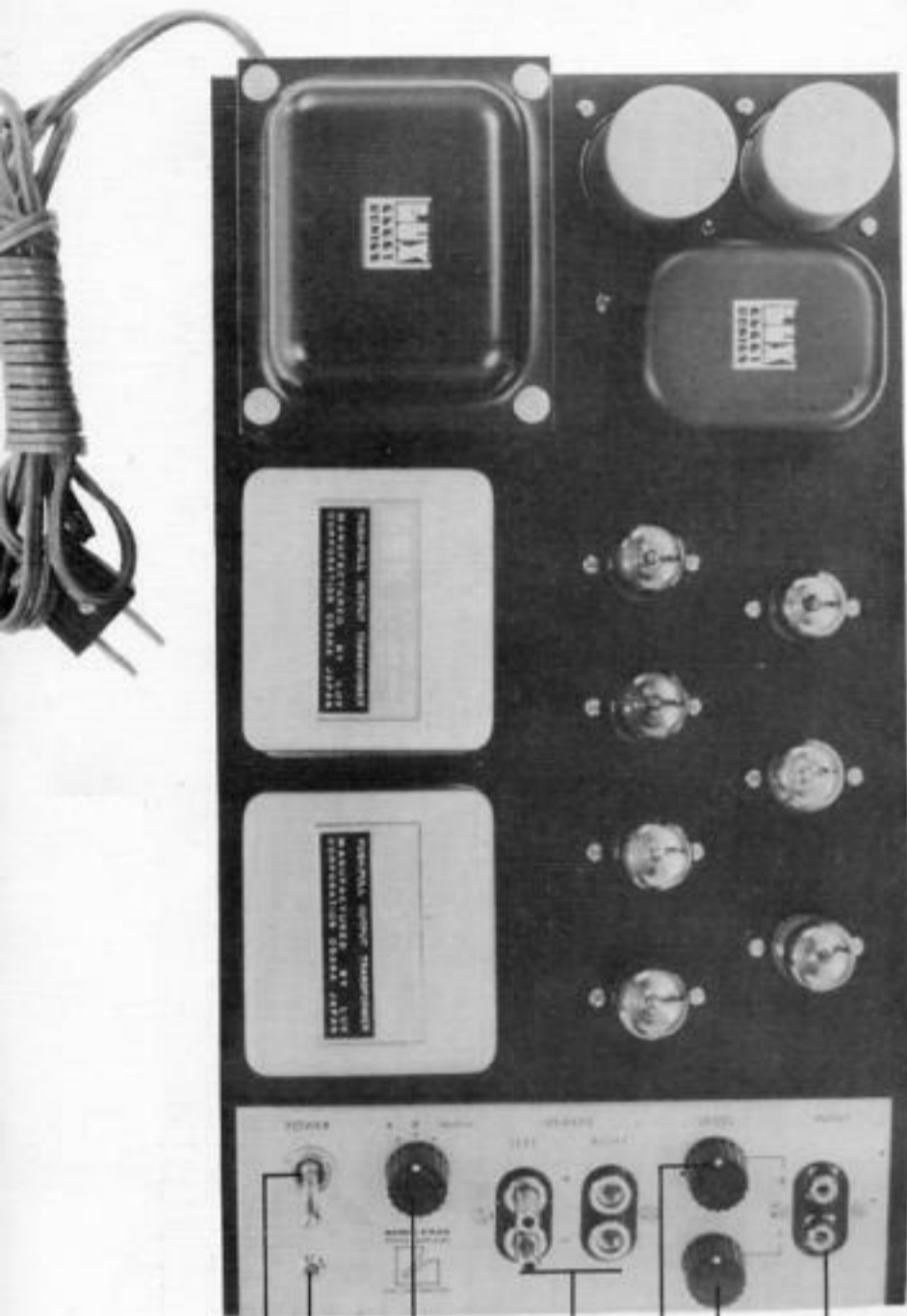
品名	規格・型番	数量
電源トランス	125V (倍電圧) $\frac{45V \times 2}{150mA}$	1
出力トランス	ラックス製 OY14 型 5K	2
チョーク・コイル	1.3H 200mA (4BCL3)	1
電解ブロック	50 μ × 2 450WV	2
単ポリューム	250K Ω B	2
半固定抵抗器	5K Ω B	2
＊	2K Ω B	2
トグルスイッチ	単極片切 125V 5A	1
ロータリースイッチ	1段2回路3接点	1
ソケット	MT用9ピン	7
入力端子板	2P	1
出力端子板	ラックス特製	1
ツマミ	丸型	3
ヒューズホルダー	3Aヒューズ入	1
パイロットランプ	小型ネオン式	1
絶縁ブッシュ	ベークライト9mm用	1
ラゲ板	6P(1), 4P(3), 3P(2), 2P(3)	9
シャーシ	350×185×45mm(底板付)	1
コントロールパネル		1

本キットの組み立てには、上記の部品のほか、真空管、抵抗コンデンサー類が必要です。弊社においても、一応このキットに対する、推奨回路を選定しておりますが、これ以外の回路で使用されても結構です。ここにトランス・キットの妙味もあるわけですが、この場合の性能は、回路方式によって若干差異を生じます。本誌に掲載されている諸特性は、推奨回路によるものです。右表の(真空管・CRキット)は推奨回路用に用意されています。

なお、このトランス・キットには、実体配線図が添付されています。トランス、スイッチ、ソケット、端子板など主要部品は、すべてシャーシに取付け済みになっています。工具としては、半田鑪とニッパ(ペンチ類でもよろしい)が必要です。仕上げの調整には、電圧計が必要ですが、これはテスターで間に合います。このほか、配線用のビニール線、ワニスチューブ、半田などが若干必要です。

KMQ8用真空管・CRキットの内容

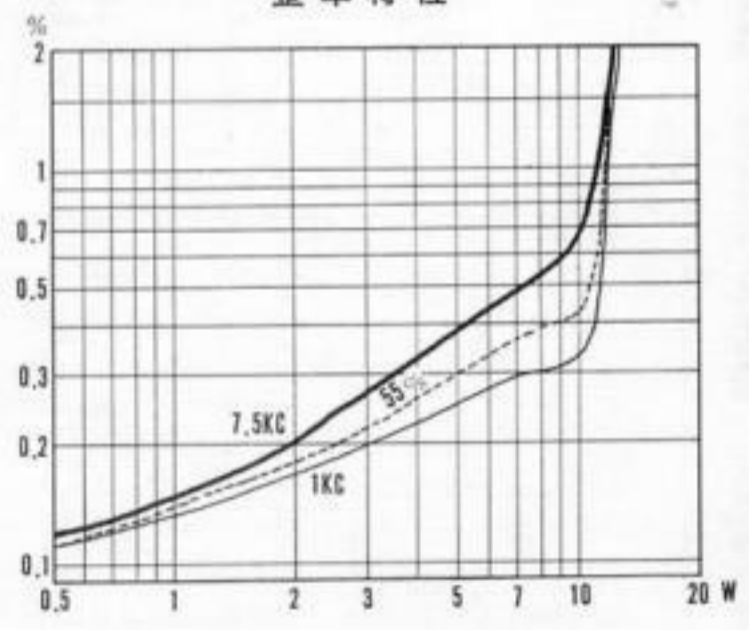
品名	規格・型番	数量
真空管	6RA8(NEC)	4
＊	12AU7(ナショナル)	2
＊	12AX7(ナショナル)	1
シリコン・ダイオード	P1V 400V 500mA (5GF 日本インターナショナル)	2
＊	P1V 400V 150mA (SM150a オリジン)	1
電解チューブラ	100 μ 200WV	2
＊	100 μ 50WV	1
＊	30 μ 50WV	2
＊	100 μ 6WV	2
MPコンデンサー	0.1 μ 400WV	4
＊	0.5 μ 350WV	2
セラミック・コンデンサー	200PF 15WV	2
抵抗	30K Ω 1W \pm 10%	2
＊	2K Ω $\frac{1}{2}$ W ＊	1
＊	500K Ω $\frac{1}{4}$ W ＊	2
＊	100K Ω ＊ ＊	5
＊	30K Ω ＊ ＊	6
＊	34K Ω ＊ ＊	2
＊	2K Ω ＊ ＊	2
＊	10K Ω ＊ ＊	2
＊	1K Ω ＊ ＊	1
＊	200K Ω ＊ ＊	1
＊	1M Ω ＊ ＊	2
＊	250K Ω ＊ ＊	2
＊	3K Ω ＊ ＊	2
＊	100 Ω ＊ ＊	2



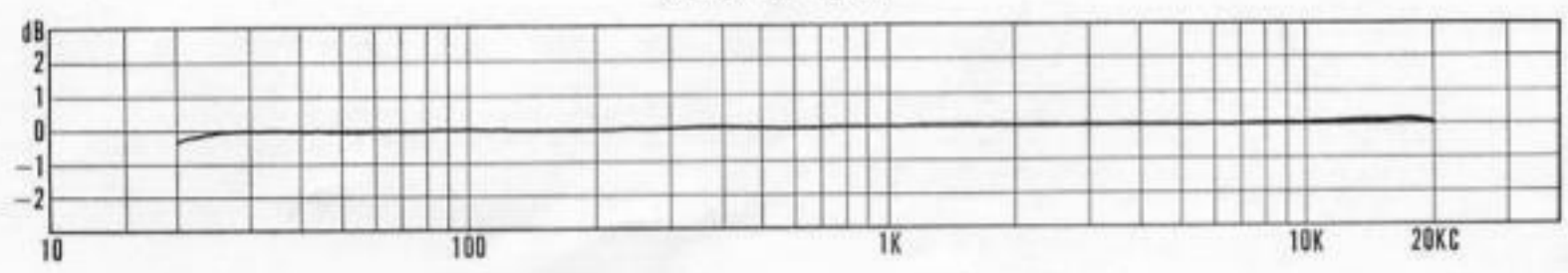
KMQB配線仕上り模様

- 電源スイッチ
- パイロットランプ
- インピーダンス切換
- スピーカー端子
- 右ホリユーム
- 左ホリユーム
- 入力端子

歪率特性



周波数特性

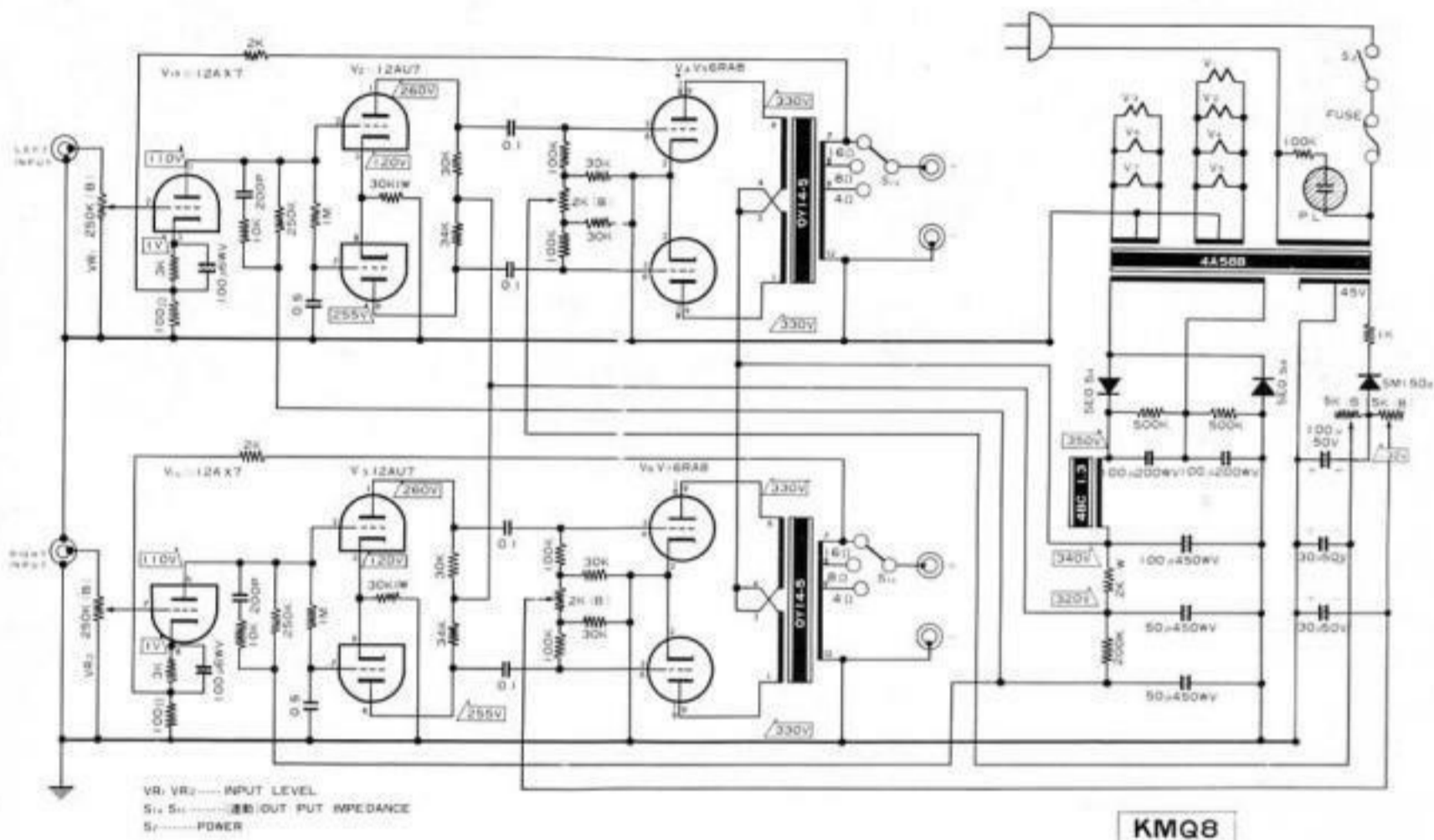


規 格

使用真空管 6RA8(4) 12AU7(2) 12AX7
 使用ダイオード SE0.5a(2)
 出力・歪率 11W×2(55%) 0.5%以内
 12W×2(55%) 1%以内
 周波数特性 20%~40,000% -0.5dB以内
 N F 量 19.5dB
 入力感度 0.7V(10W 1KC)

出力端子 4・8・16(Ω)スイッチ切換方式
 S / N 比 -90dB
 消費電力 135W(最大出力時)
 100W(無信号時)
 外形寸法 350(横)×185(奥行)×150(高)mm
 重 量 9.5kg

回 路 図



お求めは誠実な当店で

三 菱 電 機 株 式 会 社

本 社 大阪市西成区長橋通2-2-2 電話 大阪 632-0031 (代)
 支社・試験室 東京都台東区東上野2丁目18共同ビル10階 電話 東京 833-7691 (代)
 九段営業所 東京都千代田区神田神保町3-4 電話 東京 261-9694・4588

※規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。